

じ ん だ い

第67号

2022.5.20 (金)

発行：医療法人社団 欣助会 吉祥寺病院

調布市深大寺北町4-17-1 ☎042-482-9151
URL www.kichijoji-hospital.com



基本理念

患者様やご家族の側に立った医療
患者様の社会復帰を目指す医療
全職員相互の力を発揮できる医療



院内中庭の花壇(3月)

Contents

各部署紹介.....	1
本能寺からお玉ヶ池へ ～その⑪～	4
クロザリル治療導入までと近況について.....	7
私の趣味紹介.....	8
B棟リニューアル紹介.....	9
当院のおすすめメニュー.....	10
外来担当表 / 当院略図 / 巻頭写真募集 / 編集後記	11

各部署紹介

医局

医局には常勤医師15名、非常勤医師9名、公認心理師1名が在籍しています。昨年度より精神科専門医の基幹施設となり、今年度は2名の専攻医が入職しました。大ベテランから若い専攻医の先生まで、幅広くバラエティに富んだ人材が揃っています。当院は急性期治療に力を入れており、大変忙しい毎日ですが、多職種と連携しながら、患者様やご家族の側に立ち、社会復帰を目指す医療を目指しています。



A2病棟

A2病棟は男女混合の精神科急性期治療病棟です。主に入院の受け入れやクロザリルを新たに服用開始する方のケアを担当しています。クロザリルとは、治療抵抗性統合失調症に対して効果があることが認められている唯一の薬です。入院されたばかりの患者さんやクロザリル開始のために他病棟からA2病棟移動された患者さんが、安心して休養を取り、治療を受けられるように支援しています。また、基本的には入院期間が3ヶ月となるため、入院時から退院後の生活を見据え、退院後も安定した地域生活を送り、患者さんがご自身の希望を叶えることが出来るように、主治医やPSWを始めとする多職種でカンファレンスを行い、内服自己管理や、退院前訪問看護を行いながら支援しています。

A3病棟

他部署からA3病棟ナースルームに来た方の第1声は「きれい〜い」という声です。比較的きちんと整理整頓されています。女性病棟ということで綺麗な患者さんも多い(個人差はありますが)印象です。入院が長期化する方もいて67年継続されている方もいます。年齢層は10代から90代と幅広く、一つの社会を構成しています。難治性の患者さんが集まりクロザリル導入者は5名になり、昨今では認知症の行動障害の方も多く、療養環境の維持に努めることに追われています。患者さんにとっては人生の通過点である“入院”を“チャンス”に変えることが出来るよう、スタッフは患者さんが地域へ戻る為の方策を家族、地域支援者等と共有しながら支援に力を注いでおります。

A4病棟

A4病棟は救急入院病棟として年齢層、疾患ともに幅広く急性期の患者を受け入れています。救急入院としての機能の他、病棟ではクローバーやたけのこの会という、退院後を見据えた心理教育を実施しており、患者さん、精神保健福祉士、薬剤師、作業療法士、看護師が参加してストレスの対処法や退院後の生活、薬の管理の仕方などを一緒に学んでいます。退院後の環境については、病棟スタッフが訪問看護で確認するなどし、入院時から社会復帰に向けた看護を実践しています。



各部署紹介

B1 病棟

B1 病棟は男女混合開放病棟です。院庭から眺める四季折々の季節を感じながら、療養し自立した生活を目指して退院が出来るように支援している病棟です。現在、最高齢は86歳の方から平均年齢67歳の患者様をご入院されています。特に長期入院患者様の退院支援に力を入れており地域を含めて、多職種と連携して計画的なカンファレンスを実施しています。B1病棟スタッフの連携した多職種との情報交換と専門的知識と技術を用いた患者様への手厚い看護で毎年、入院期間が5年を超す長期入院の患者様が継続的に笑顔で退院することが出来ています。



B2 病棟

B2病棟は63床の精神科慢性期男性病棟です。統合失調症の患者様が多い中で、最近では認知症や高齢の患者さんの入院も目立ってきています。昨年度からクロザリル治療維持期の患者様を3名受け入れており、私達スタッフも新しい事を学ぶ機会が増えています。また、5年以上入院している患者様の地域移行にも力を入れており、2年続けて退院支援に成功しました。これまで培ってきた多職種とのつながりや連携を大切にして、病棟機能をさらに強化していきたいと思っています。

B3 病棟

この時期の桜は何と言っても B3病棟から見るのが一番美しい。女性病棟らしい環境で、リフォーム後の病棟内も清潔さが保たれている。この春から隔離室が4床となり、前通路は白く塗装され、ダウンライトが明るくなり、暗い印象の保護室がとても明るくなった。同じく3人床も新しいダウンライトが設置され、壁一面向く明るい部屋に生まれ変わった。

耐震工事から始まり、長くリフォームを経てようやく一段落したところといった感じだが、春のスタートに合わせて心機一転、患者様に寄り添った退院支援を B3病棟一丸となり進めてゆきたい。



各部署紹介

薬剤科

薬剤科は常勤4名、非常勤1名、医療技術員1名、計6名で入院調剤を主に薬剤管理指導業務、医薬品情報業務、医薬品安全管理業務を行っています。

薬剤管理指導業務は入院患者の薬歴管理のもとに服薬指導を介して薬を安全に継続して服用できるように必要性をお話しています。残念ながら再入院となるケースもあり服薬指導の重要性を感じています。

精神科医療チームの一員として患者様のために努力していきたいと思えます。

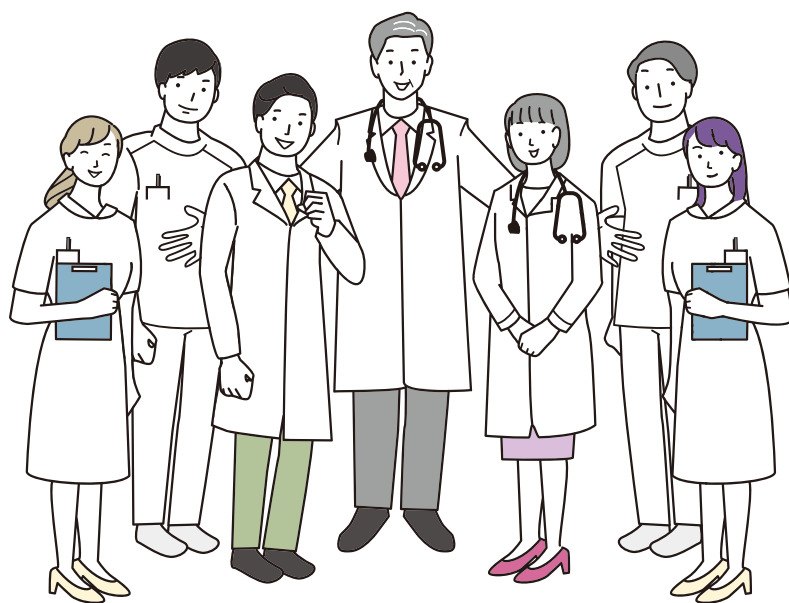
どうぞよろしくお願いいたします。



医療相談室

医療相談室には現在14名の精神保健福祉士(以下PSW)が在籍しており、入院相談窓口・外来・病棟・訪問看護・デイケア・ナイトケアなど、各部署に配属されています。

PSWがお受けする相談内容は、経済的な問題や就労、就学、住居のことなど多岐に渡っています。私たちは、精神疾患・障害を抱えるご本人やご家族などの生活に関わる困りごとや社会的な問題に寄り添い、支援や相談を通して、その方らしい人生を歩むためのお手伝いをさせていただいています。



本能寺からお玉ヶ池へ ～その⑪～

医局 西岡 暁

桜ばな いのち一ぱいに咲くからに 生命をかけて
わが跳めたり (岡本かの子)

春がまた廻って来ました。日本の春と言えば、桜ですね。

岡本太郎の母・かの子(1889-1939)も桜が大好きで、桜を詠った歌を数多く遺しています。ご存知の方もいらっしゃるでしょうが、岡本かの子には精神疾患の既往があり、精神科の入院歴もあります。入院した頃の桜(の幻覚)を詠んだ歌があります。

ふたたびは 見る春無けむ 狂人のわれに咲きけむ
炎の桜 (岡本かの子)

これらのかの子の歌に加えて、ここでは俳句でも「桜」を味わってみましょう。何と言っても(?)「お玉ヶ池」は元々は「桜が池」だったのですから……

花の雲 鐘は上野か浅草か (芭蕉)

この句は、芭蕉さんが江戸・深川の芭蕉庵(その北西3kmほどに後年「お玉ヶ池種痘所」が開かれます。)で詠んだもので、「上野」は「寛永寺時鐘堂」、「浅草」は「浅草寺弁天山鐘楼」を表しています。「時鐘」の文字でお解りと思いますが、当時江戸市中に九つあった「時の鐘」の中の二つを芭蕉さんが実際に聴いて詠んだ句です。何とその鐘は、二つとも(300年以上経った)今でも現役(毎時ではなく、日に2、3度だけになってはいます。)なので、私たちも聴くことが出来ます。

余談になりますが、江戸の「上野」という地名は、芭蕉さんの故郷である伊賀上野から採ったものだというをご存知ですか? 「そんな馬鹿な?!」と(またもや)言われそうです(し、伊賀の外^{ほか}の地域では勿論異説があります。)が、藤堂高虎(1556-1630)が江戸下屋敷を建てた際、その地「忍ヶ岡」(の地形?)が伊賀の上野に似ていたので、地名を「上野」に改めたとされています。藤堂高虎の墓所は、江戸下屋敷内に造られ、今では(余り知られていませんが、その周りには)何と上野動物園(!?)になっています。

寛永寺は、高虎の江戸下屋敷の敷地に建てられ、そのことは芭蕉さんも重々承知のことでしたから、故郷(伊賀上野)の名を持つ町に建つ寛永寺の鐘の音は、江戸に下った芭蕉さんの耳にはどのように響いたのでしょうか?

[13] 本郷(3)

余り知られていませんが、春日局^{かすがのつぼね}は徳川家光(1623-1651)の生母(異説の筈の浅井江^{あざいごう}(秀忠の正室。信長の姪)生母説の方が通説になっています。)であり、家光の小姓に先夫との子・稲葉正勝を付け、家光を将軍に就けるのに尽力し(たことはよく知られています。)、そのことによって父・斎藤利三(家光が春日局の子なら利三は祖父)が主君・明智光秀と共に目指した天下泰平を成し遂げました。それこそが「本能寺の変」で斎藤利三を始めとする明智一族郎党が掲げた旗幟^{きし}でもあったのです。

1628年(寛永5年)、家光が痘瘡に罹ると、春日局は(日光)東照宮に詣でて「家光の病氣平癒の暁には、その後一切の薬を服用しない。」と誓いを立て、程なく家光が回復したため、局は本当に終生一切の薬を飲まなかったそうです。

「本能寺の変」から280年近く後、明智光秀末裔の三宅良斎が発起人(の一人)となって「お玉ヶ池種痘所」が開設され、更にその18年後、その種痘所を源流とする「東京医学校」が、春日局の眠る枳殻寺^{からたちでら}(と呼ばれる麟祥院^{りんしょう})のほど近くに移って来たことには、何か不思議な深い縁^{えにし}を感じずにはいられません。

「お玉ヶ池種痘所」発起人(の一人)の坪井信良の長男・坪井正五郎^{しょうごろう}(東京帝国大学理科大学初代人類学教授;1863-1913)は、母が坪井信道の娘なので、織田信長の末裔になりますが、「本能寺の変」の斎藤利三の娘・春日局の眠る麟祥院の境内にあった湯島小学校に通っていたことがあります。東京23区内で最古(都内では2番目)の小学校である湯島小学校は、その後1876年(明治9年)に(麟祥院の南西約400mの)湯島新花町^{しんはなちよう}(現・文京区湯島2丁目)に移転して現在に至っています。

その同じ年に東京医学校は本郷に移転しました

が、その時の校長は長与専斎(1838~1902)です。専斎は、肥前大村城下に生まれ緒方洪庵の適塾に学んだ大村藩医で、適塾では福澤諭吉の次(11代)の塾頭を務めました。そして東京医学校が「東京大学医学部」に(なった時の「医学部総理」は池田謙斎(適塾、西洋医学所出身。三宅秀と同時に日本初の医学博士になった人。)ですが、)なると、最初の「学部長」には三宅秀が就任しました。

さてここで、「本能寺の変」で坪井信道の先祖・織田信長を槍で突き、森乱丸を討ち取った安田国継が後に仕えた乱丸の兄・森長可^{ながよし}(1558~1584。美濃金山城(@岐阜県可児市兼山)主。実は[2]で既に登場されています。)にお出まし頂きましょう。長可の「長」の字を頂戴した主君・信長と血を分けた弟・乱丸の仇である国継^{いくさ}を雇うという器量の大きさに感心させられる人です。森長可は、「本能寺の変」の2年後「小牧・長久手の戦い」^{くみ}で羽柴秀吉に与して徳川家康と闘い、その戦に敗れて討ち死にしました。享年27。

話は変わりますが、長可、乱丸兄弟の末の弟・森忠政(津山藩祖;1570~1634)の正室は、大蔵姫と呼ばれる姫です(森家や明智一族・三宅家の記録にはありません。)が、(創建1200年超の)世界遺産・春日大社の摂津での莊園目代^{もくだい}(≒代官)である今西家の記録によれば、「第36代今西春房^{ときふさ}と明智光秀の娘・美津([1]で挙げた光秀の娘たちには含まれていません。)との娘」となっています。それが史実であれ

ば、長可の弟・忠政もまた、主君・信長と兄・乱丸の仇の孫娘を妻にするという器の大きな人だったのです。

一昨年[3]で「各地の町で教会の鐘が鳴り響いていたことが…無かったことにされた」とぼやいたことがありましたが、森忠政の築いた津山城(@岡山県津山市山下)は、天守の南蛮鐘を徳川幕府の終焉の日まで鳴らし続けた唯一の処とされます。その南蛮鐘は、1616年(元和2年)に城の新築祝として細川忠興(=ガラシャの夫)から贈られたもので、今では大阪の南蛮文化館に在って、開館期には当時の鐘の音を聴くことが出来ます。忠興が忠政に南蛮鐘を贈ったのは、忠政の正室が妻ガラシャの姪だという縁からなのでしょうか?(裏付けとなる史料はありません。)津山^{みつくりげんほ}と言え、お玉ヶ池種痘所資金醸出者筆頭の箕作阮甫は、津山生まれの津山藩医です。

森忠政の兄・森長可の遺言状が、名古屋市博物館に遺されています。そこには、「おこう(長可の娘とされています。)は武士ではなく、京の町人、例えば医者のような人に嫁がせるように」という意味のことが書かれています。「人間無骨」(その槍で突けば人の骨など無いに等しい、の意)と彫られた槍を振るい、「鬼武蔵」と呼ばれた長可ですが、その長可が、娘を医者(のような仕事の人)に嫁がせたかったというのは、戦国武士の人生が如何に厳しいものだったかを物語っています。

戦国時代ではありませんが、大高源吾(=討ち入



晴れてまた しくるゝ春や 軒の松 (酒井抱一)・寛永寺時鐘堂

りの後切腹した赤穂浪士の一人)の介錯人を務めた松山藩士・宮原久太夫は、高名な俳人・子葉でもある源吾を討たねばならなかった武士と言う職業を僂はかなんで藩を辞して武士の身分をも捨てて酒屋に転職したそうです。

武士の身分を捨てて作家になった人もいます。越前吉江(現・福井県鯖江市)藩士の三男(で母の実家が医家)の杉森信盛は、27歳頃に浄瑠璃作家・近松門左衛門(1653-1724)となりました。ご存知のように近松は「曽根崎心中」で有名で、その忌日は巢林忌、近松忌として冬の季語になっています。

降りそめし 浮世の雪や 近松忌 (茂野六花ろっか)

茂野六花は、新潟医大卒業の法医学者で新潟大学医学部長→学長を務めた茂野録良ろくろう(1926-1985)のことですが、その俳号は、法医学と俳句双方の師匠・(俳句雑誌「ホトトギス」の)高野素十すじゅう(1893-1976)から戴いたものです。

また、武士の身分を捨てて絵師になった人もいます。「江戸琳派の祖」と言われる酒井抱一ほういつ(1761-1829)です。抱一は、大名家(祖父や兄が姫路藩主)に生まれながら、37歳の時武士の身分を捨てて出家し、後に絵師となって活躍した人で、大高源吾の師・宝井其角を敬愛する俳人でもありました。ただ抱一の場合、武家を捨てた理由は、(長可や久太夫のように)武士という職業を僂はかなんでという

訳ではないようですが…

娘を医者(のような仕事の人)に嫁がせたい、と言う森長可の遺言は、坪井信道の先祖である織田信長が好んで(大河ドラマ「麒麟がくる」でも)舞った幸若舞こうわかい「敦盛」の原作とも言うべき「平家物語・巻第九」に書かれている「…あはれ、弓矢とる身ほど口惜くちおしかりけるものはなし。武芸の家に生れずは、何とてかゝる憂き目をば見るべき。」(【現代語訳】ああ、弓矢で戦う武士ほど嫌なものはない。武士の家に生まれなければ、今頃こんな辛い目に遭うことはなかった筈だ。)という台詞に重なるものがあります。

そしてそれはまた、光秀の子孫(である三宅重之の娘婿・休庵、元哉、玄碩、英庵、良斎(やその兄たち))も信長の子孫(である坪井信道、(二代目信道⇒)信友、信道長女・牧の夫・信良、信道次女・幾の夫・為春)も江戸時代には医業なりわいを生業としたのを知っている私たちには(そして、こちらで知って頂いた読者の皆様にも、恐らく)酷く重く響いて来ます。更には、光秀の子孫との家伝を持つ者がこの時代に医師として暮らしていることにも、ずっしりとした重み、歴史的運命とでも言うべきものを感じずにはいられません。(大袈裟ですか？ ならば、お口直しに酒井抱一の句を… 抱一は、絵のみならず宝井其角の流れを汲む江戸座俳諧の俳人でもあり、狂歌や戯作げさくの作者としても盛んに活動したマルチタレントでした。)



本能寺焼討之図 (楊齋延一)

クロザリル治療導入までと近況について

B2病棟クロザリル委員会 大熊昌子

2022年4月現在、当院におけるクロザリル治療は9名に導入されています。A2病棟で導入期を過ごし、3か月後には各病棟に転棟し、維持期の治療継続という流れで治療されています。また、1名の患者は退院の運びとなり、外来通院で治療継続できています。

2018年9月、クロザリル治療の導入に向け準備委員会が発足しました。医局・薬剤科・検査科・医事課・相談室・外来・各病棟と全部署から参加し、マニュアル作りが始まりました。

情報収集も含め、導入している病院からマニュアルを取り寄せ、当院ではどうしていくのかを話し合いながら作成していきました。外部の勉強会への参加により、治療効果や副作用への理解は進んだものの、当院での実際の取り扱い方法などは漠然としている状況で、2019年6月、導入している山梨県立北病院の見学に参加しました。慎重な取り扱いが必要ではあるものの、治療効果についての事例紹介から、期待も膨らみました。クロザリルの効果を患者自身が得られることで治療へ主体的に参加できるようになること、長期入院の患者が退院できたこと、多飲水の軽減など具体的なエピソードから当院で導入できそうな患者が思い浮かんだのは言うまでもありません。また、導入への現実的なイメージや当院ではどのように対応するのかなど踏み込んだ疑問に変わっていきました。処方日の設定や看護師のマニュアルも作成するなど具体的な対応方法を話し合いながら、2019年10月にクロザリル治療マニュアルが完成しました。実際に導入するまでには各病棟単位で勉強会を実施し、各自WEB講習を受け、CPMS登録看護師を増やすなどの準備にも取り組んできました。そして2020年5月に導入患者決定、6月に治療開始の運びとなりました。

実際に導入してみると様々なことが起こります。病棟からの意見を反映させながら、その都度になりますが、書式やマニュアルの追加・変更を行っています。やはり開始してみないと分からない事はたくさんあるなと実感している次第です。

さて、治療効果について。それぞれの病棟で思うところがあるのではないかと思います。B2病棟では2名の患者に導入しています。1名については

退院先についての強固だった妄想は殆ど口にしなくなっており、その他には色々あるが、妄想に関しては治療効果あり！と言えるのではないのでしょうか。そしてもう1名について。多飲水含め隔離生活が長くなるなど長い慢性期の方です。治療効果への期待から本人は大いに乗り気になってくれました。家族同意も得て2021年11月末より治療開始。導入3ヶ月が経過しB2病棟へ戻ってきました。多飲水はもちろんなし。他患者との関わりで調子を崩しがちでありましたが、一定の距離を保つことが出来ており、安定した病棟生活を過ごすことが出来ています。院内単独外出も始まり、家族の不安に寄り添いながら外泊への準備を進めている状況で、退院も現実的になりつつあります。

クロザリル治療を選択することは副作用の心配や、管理方法の難しさなどから躊躇する医療者、家族は多いかもしれません。しかし、患者自身にとってはどうなのかを考えた時、選択肢から除外してしまうことは少しもったいないと感じます。とはいえやはり気になる副作用。当院ではゆっくり増量していることもあり、現在の導入患者については、重篤な副作用の出現なく継続できています。

今後はクロザリル導入患者が増加していくことや、外来通院の患者が増えていくことが予測されます。長期入院患者の退院支援に結びつけるためにも、クロザリル治療への理解が深まるような情報提供を行っていったら、と考えています。



私の趣味紹介

僕は趣味で釣りをします。

B2病棟 YH

今のご時世、中々行くことが出来ず、釣りの動画を見ることの方が多いのが現状です。僕が好んで狙って釣る魚はシロギスです。写真は釣ったシロギスを居酒屋に持って行き天ぷらにした物です。美味です。マグロを釣るような竿で20センチ前後のシロギスを釣ってもおもしろくありません。釣り竿は柔らかい物を使用して引きを楽しめます。シロギス釣りに興味あれば、youtube等で検索してみてください。



踊りに捧げた人生？

RY

じんだい編集委員から、「踊りに捧げた人生」というテーマで文章を書くことを提案され、書いているのですが、実は、私、「踊りが下手」なんです。

高校の時の創作ダンスでは、先生に、「ひとりだけテンポずれてるなあ。歌舞伎役者みたいな動きだなあ。曲はモーツアルトなのに一。」と言われ、フラダンスでは腰だけでなく体全体がぐにやぐにやしてしまう。ヒップホップでは、テンポに乗れず、ことある度に、先生に、「大丈夫ですか？」と言われてしまいました。

そして、バーで開店前にサルサを教えてくれるところがあるということで、友人に誘われ行ったところ、やはり、5-6人いた中で私ひとりだけ踊れず、先生(ラテン系おじさん)から「どうしてリズムに乗れないのー！」とサジを投げられてしまいました。そして、バーが開店。人が多くなり、ディスコタイム、私が「いえーい!!!」とテキトウに踊っていたところ、先生が来て、「リズムに乗っている！それで、OK! いえーい!!!」と盛り上がりました。結局、サルサは踊れないままでしたが……。

孔子は「知、好、楽」という言葉を残しました*1。これは、何事をやるにしても知っているだけの人以上に好きである人が、さらに好きだけの人以上に楽しむ人が勝っているという意味です。私の踊りもこれなのかもしれません(なんちゃって～)。

みなさんも楽しいことがあったら、「いえーい!!!」とやってみてはいかがでしょうか？さらに、また、機会があれば、一緒に踊りましょう。

*1 引用文献 齊藤孝著 子どもの自己肯定感が高まるほめ方叱り方の新常識 100



B棟リニューアル紹介



**B棟リニューアル
完了いたしました！**



当院のおすすめ
メニュー

マセドアンサラダ

1人分栄養成分

エネルギー 131kcal
タンパク 1.8g
塩分 0.6g



材 料 (2人分)

じゃがいも…………… 100 g
ミックスベジタブル…………… 60 g
きゅうり…………… 20 g
マヨネーズ… 20 g (大さじ1と1/2)
A 塩…………… 0.6 g (ひとつまみ)
こしょう…………… 少々

作り方

- ① じゃがいもは皮をむき、1cmの角切りにする。
- ② きゅうりも1cmの角切りにする。
- ③ 角切りにしたじゃがいもを茹でる。じゃがいもがやわらかくなったら、ミックスベジタブルを入れて茹で、ザルにあげて冷ます。
- ④ じゃがいも、ミックスベジタブル、きゅうりをボウルに入れ、Aの調味料を加えて和える



「マセドアン」とは、フランス語で切り方を意味する言葉で、さいの目切り(サイコロのような小さい角切り)のことを指します。小さく角切りにした野菜を、マヨネーズなどで和える料理です。とても簡単に作れて、彩り豊か栄養たっぷりのサラダです。ぜひ参考にしてみてください。

外 来 担 当 表

● 初 診

	月	火	水	木	金	土
第1・3・5週	畑	岡田	森	田澤	鈴木	市川
第2・4週	狩野	西岡	宮原	山室	中村	土井

● 再 診

月	火	水	木	金	土
原藤	院長	原藤	土井	土井	森
土井	土井	森	市川	市川	西岡
市川	市川	西岡	田澤	森	山室
森	西岡	山室	山室	西岡	狩野
田澤	山室	岡田	岡田	岡田	亀山
清野	岡田	中村	畑	畑	
		宮原	鈴木	澤井	
		森(栄)		種田	
		南			

受 付 時 間

- 月～金 午前 9 時～11 時 (初診・再診)
午後 1 時～ 3 時 (初診)
- 土 午前 9 時～11 時
午後も入院は受け入れています

当院は「敷地内全面禁煙」です。



調布市深大寺北町 4-17-1

巻頭写真募集

広報委員会では、季節(春・夏・秋・冬)に応じた、じんだいの巻頭写真を募集しています。写真は季節に応じたものであれば、ジャンルは問いません。写真を撮るのが好きな方、提供いただける職員の方は、広報委員会メンバーにお声掛けください。たくさんの応募をお待ちしています。



編 集 後 記

2月のとある日、院庭の桜の剪定がありました。センターの前の桜の剪定は、大掛かりで3人の庭師さんがチームを組んで、1日ばかりでおこなっていました。

ソメイヨシノは、植えられて40年を過ぎると衰退してゆくそうです。この桜が植えられたのが、吉祥寺病院が創設された1954年ですから、樹齢67年になります。かなりの高齢ですが、これからも吉祥寺病院を見守ってくれるといいですね。

(小夏)

「じんだい」の原稿に花を添えているイラストは印刷請負の会社で付けてくださいます。以前の印刷会社よりも可愛いイラストに寄っているのが気に入ってるポイントです。それでもやっぱり写真にはかないませんよね。原稿に関する写真があると文章をぐっと身近に感じることが出来ませんか？こんなご時世ですけれど、なるべく写真を提供していただきたいと思っていますので、ご協力お願いいたします。

(素敵女子)